

## 桐生西ロータリークラブ会報



2024-2025年度 R I テーマ ステファニー A. アーチックRI会長  
「THE MAGIC OF ROTARY ロータリーのマジック」



例会場・事務局 日本料理うおせん 桐生市広沢町1-2689  
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

Eメール [kiryu-nishi@rid2840.jp](mailto:kiryu-nishi@rid2840.jp) TEL 0277-47-7061  
URL <http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi> FAX 0277-47-7062

会長 山同輝和 公共イメージ委員長 小林 聡 会報・ロータリーの友担当 新島健介  
幹事 早川勇一 公共イメージ委員 花房孝道、今泉攻一、栗原秀一(広報・CICO担当)

No. 2354

2025年5月16日発行

## 第2501例会 (2025.4.25) 報告

- |                     |          |
|---------------------|----------|
| 1. 点 鐘              | 6. 食 事   |
| 2. ロータリーソング (我等の生業) | 7. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介            | 8. 外部卓話  |
| 4. 会長報告             | 9. 点 鐘   |
| 5. 幹事報告             |          |

## ◆ビジター紹介

桐生市長 荒木 恵司 様  
桐生市役所秘書室 秘書室長 河合 恵子 様

## ◆会長報告

山同輝和会長

- 4月26日(土) 群馬大学桐生キャンパス工学部館に於いて、桐生4RC合同群馬大学理工学部留学生交流会が開催されます。
- 5月8日(木) 2025-2026年度 桐生4RC会長幹事会が開催されます。青山直前会長、山形会長エレクト、河内副幹事が参加されます。
- 5月10日(土) ケービックホールにて職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕セミナーが開催されます。私と山形エレクト、高森奉仕PJ委員長、早川幹事、RAC3名で参加して参ります。
- 5月15日(木) 大間々高校にてキャリアセミナーが行われます。皆さまへ、講師募集のご案内をお送りしており、本日が締切となります。ご協力いただける方は、高森奉仕プロジェクト委員長までご連絡をお願いいたします。
- 「令和7年 大船渡大規模山林火災被害支援金」本日、森ガバナンス事務所へ5万円を送金致しましたことをご報告申し上げます。
- 桐生西RC内特別会員及びクラブ細則第6条第2節に基づいて導入された会費分納特別措置制度の申請が4月15日から受け付けております。締め切りは5月15日ですので申請を希望される方は早めをお願いいたします。申請書は事務局にございます。

## ◆幹事報告

早川勇一幹事

## ◇例会変更のお知らせ

桐生RC 4/28 (休)  
桐生南RC 4/30 (休)  
桐生赤城RC 4/29 (休)、5/6 (休・祝)、  
5/13 例会場変更 (旬彩きむら)、  
5/20 → 5/17 上田六文銭RC交流会  
他4RCより

## ◇クラブ会報が到着しております

桐生RC 4/14  
桐生赤城RC 4/15  
栃尾RC 4/1、4/8、4/15

## ◇その他

- ・前橋南RCより、創立40周年記念式典のお礼状が届いております。
- ・桐生市社会福祉協議会より「福祉ぐんま(No.292)」が届いております。
- ・家住会員より筍の差入れをいただきました。受付にございますのでお帰りの際にお持ちください。
- ・5月1~2日事務局が不在となります。緊急の場合は早川幹事までご連絡をお願いいたします。

## 本日のメニュー

- ・まぐろソース丼
- ・鰯のホイル焼き
- ・中華サラダ
- ・味噌汁
- ・デザート (オレンジムース)



## ◆委員会報告

## ●クラブ運営委員会

## ◇出席報告

城越敦子出席担当

会員総数 50名  
出席率対象者 49名、対象出席者 40名  
出席率 81.63%

## ●R財団・米山奨学委員会

## ◇ニコニコBOX 大屋昌太ニコニコBOX担当

荒木市長 卓話楽しみにしています 早川幹事  
荒木市長のご来訪を歓迎します 近藤君  
荒木市長 宜しくお願いします  
前原君、坪井君、塚本君  
青山豊君、堀江君、小林美香君  
出席、久しぶりです！ 新木君

# 桐生西ロータリークラブ

桐生市 エアコン補助金が出ます 山形君  
5/16(金)早朝検診結果を報告させていただきます 野田君

## ◇R財団 松島共由 R財団担当

荒木市長 今日はよろしくお願いたします 山同会長  
荒木市長 卓話楽しみにしています 早川幹事  
荒木市長 卓話ありがとうございます

花房君、前原君、坪井君、塚本君  
近藤君、乾君、青山豊君、小林美香君  
出席、久しぶりで 新木君  
みどり市 LED照明の補助金が出ます 山形君  
寒暖差で体調を崩さない様にご自愛ください 野田君

## ◇米山奨学 青山桃子米山奨学担当

荒木市長 宜しくお願いします  
前原君、坪井君、塚本君  
青山豊君、大屋君、小林美香君  
母の要望で万博日帰り強行軍をしました。  
出発AM3:00→帰宅PM11:00 約22,000歩 歩きました 山形君

## 外部卓話

### 『桐生市独自の 「子育て・教育環境」 を目指して』

桐生市長 荒木 恵司 様



本日は例会にお招きいただきまして大変ありがとうございます。また、平素から会員の皆さま方にはロータリーの崇高な精神の中で地域の発展の為に力頂いておりますことに厚く感謝を申し上げます。

さて、話に入る前に皆さん1番興味があるのが、トランプ氏の相互関税の話かなと思います。1番最初に出されたのが日本に対して24%。次に90日間の停止。それから話合いがスタートし、結局先行きが分からない不安な状況かなと思っています。基本的に実行したと言う事は、日本からアメリカに輸出している自動車の金額が約6兆円に対し、アメリカから日本へ約1500億円。5兆8500億円の差があると！日本だけではなく、韓国やドイツにおいてもアメリカの貿易赤字のいずれの要因は、自動車産業あると言われる中で、アメリカ国内で自動車を作ってくれよ！そうすることによって雇用が生まれるし景気が良くなる。というのがそもそもの考えだと思います。

桐生にも、自動車関係の業者が沢山ありますが、特に隣のスバルさんに対する影響が非常に大きいと思います。スバルさんも販売比率の約70%がアメリカ。その内の約半分が日本で製造して輸出をしていると言う事であり、少なからず大きな影響があると思っています。もしこのまま関税が行われれば、アメリカもインフレや景気が低迷となり、最終的には世界経済が大混乱になると考えております。

桐生市も、そういう状況を危惧している中で、4月28日に市内に店舗を置いている全ての金融機関の方々を呼んで、現在の情報の共有化と今後の対策・対応について話合いをもつ予定であります。もう既に、それぞれの金融機関さんでは、経営相談や融資の相談窓口を設けていただいております。石破首相が「国難」と言うくらいの問題でありますので、しっかりと今後対応をしていきたいと思っています。

-----



## 本日の内容

1 tsukurun kiryu (ツクルン キリュウ)	5 ジュニアアンバサダー・子ども観光ガイド
2 ミニきりゅう	6 黒保根学園
3 サイエンスドクター	7 R高等学校
4 未来創生塾	8 保育園留学



○何で「桐生市の特色ある教育」なのか？趣旨は？

・「人口減少対策」の1つである。

桐生には他の都市には無いような魅力のある、また特色のある教育を行っております。それを色々な所に発信する事によって「教育移住」や「教育留学」とかを目指して行きたいというのが、この取組の肝であります。

・桐生にとって人口減少対策の大きな政策

「桐生でお店を開きたい」「起業したい」という方に特化した移住定住に関するワンストップ窓口「むすびすむ桐生」を一昨年の8月1日に開設。自ら桐生に移住してきた方に移住コーディネーターになっていただきSNSでの発信、対面でのお話合いなど、様々な取り組みを行っていただくことによって、この3年間で市街地を中心に空き家・空き店舗を使って企業された件数は54件。まだまだ空き店舗はあるが、徐々に解消されている。さらにそれを牽引しているのが、末広町に2件ある『古着屋さん』。土曜日曜になると、高崎や前橋の高校生が桐生に来て買い物をしてくれる。また、本町に「森山商店さん」というジーンズの製造を手掛ける会社が、昨年桐生に移住してきてくれました。何年も先まで予約が入っているそうです。

それぞれ特色のあるお店があり、行列が出来るお店もある。また、本町1・2丁目天満宮地区の「重要伝統的建造物群保存地区」の車道・歩道の石畳調の整備が行われて、電線の地中化も図られ、やっと沢山の方々が街歩きをしている姿が見受けられるようになりました。そう言ったところを重視しながら、10年後20年後、桐生市の人口が減っていくダウンサイジングも視野に入れながら、元気のある桐生の街を作って行きたい。

## 1 『tsukurun kiryu (ツクルンキリュウ)』

tsukurun kiryuってなに？

- デジタル技術を活用したもののづくり人材を育成するための、小中高生を対象としたデジタル人材育成拠点であり、3次元コンピュータグラフィックスや実写映像にCG映像を融合させるVFX技術、ゲームプログラミングなど、最先端のデジタル技術が体験できます。

利用するには？

- 利用対象者 小中高生（県内在住 or 県内学校在学）
- 利 用 料 無料（会員登録必要）
- 会員登録 直接来館 or 公式ホームページ経由で可能
- 開館時間 平日 午後3時～8時（火曜休館）  
土日・祝日 午前10時30分～午後5時30分
- 場 所 桐生市末広町13-4 桐生市保健福祉会館1階



★令和6年6月14日 オープン★

会員登録数 380人、来館者合計 2,027人（令和7年3月末日現在）

次世代を担うデジタル人材の育成と社会のデジタル化により生まれる格差を解消

- ・ デジタル人材の取組には、色々な方との連携・協力が大事
- ・ 特に、群馬大学理工学部の学生さんに講師をしていただいている
- ・ 東京にある I S I 学園（デジタル人材を育成する専門学校）とも連携



# 桐生西ロータリークラブ

- ・桐生の6高校のうち、毎年1人ずつISI学園に推薦で入っていただいている。  
「tsukurun kiryu (ツクルン キリュウ)」は桐生駅北口の保健福祉会館内に開設してありますので、ご覧いただければと思います。知り合いのお子様にも体験がてら来ていただければと思います。

## 2 「子どもがつくるまちミニきりゅう」

### ミニきりゅうってなに？

- 小学1年から6年生を対象とした職業体験イベントです。(令和3年度から実施)
- 子どもたちがまちの仕事や行政を考え労働・納税・消費をすることで社会の仕組みを経験し、まちの伝統にも触れることで郷土愛を育むことを目的としています。

### 開始結果概要

開催年	開催日 (金土日)	参加者(2日合計)	仕事数
令和3年	11月6日-7日	360名	40ブース
令和4年	11月5日-6日	573名	33ブース
令和5年	11月5日-6日	854名	45ブース
令和6年	11月9日-10日	1,107名	49ブース

今後は・・・「ミニきりゅう」を日本一の職業体験イベントに！  
「こどものまち」の聖地化を目指します！

- ・子ども達が、自ら考えて、自ら仕事をし、体験しながら創る仮想の街。職業体験イベントの街。
- ・大人が入ってはいけない仕組みになっている。
- ・群馬県では桐生市のみ。

## 3 「サイエンスドクター」(市と群馬大学との連携事業)

### サイエンスドクター事業ってなに？

- サイエンスドクター(群馬大学理工学部の学生)を市立の幼・小・中・義務教育学校へ派遣し、科学や工学のおもしろさを知ってもらい、将来の地域産業を支える人材を育成しています。



リモート研究室の紹介や放課後科学クラブを実施するなど  
桐生独自の教育プログラムである「サイエンスドクター事業」をより充実

- ・群大理工学部のお兄さんや、おねいさんに直接プログラミング体験などを教えてもらえるので、子どもの創造性が高まる。
- ・理化好きの子ども達が増えている。将来的には、桐生で学んだ子ども達が群馬大学工学部に入れるくらいの理化好きを創って行きたい。

## 4 「未来創生塾」(実践的教育プログラム)

### 未来創生塾ってなに？

- 2012年より地域一帯によって実現した主として小学生とその保護者を対象とした夢と感性を育む実践的教育プログラムです。
- 産官学民一体化により様々な実践教育を継続的に提供し、感性豊かなインベーション人材の育成と繋がりを強化による地域創生を目的としています。



### 群馬大学との更なる連携により

桐生独自の教育プログラムである「未来創生塾」の活動を支援

- ・商工会議所の方がメインで行っている「リノベーションエキスポ」、桐生の新たな取組を小・中学生目線で桐生に対する提言をしている取組も「未来創生塾」からスタートしています。
- ・参加者から高評価である。桐生の特色ある教育として売出したい。

## 5 「ジュニアアンバサダー・子ども観光ガイド」

### 未来創生塾で日本遺産講座を実施

- 未来創生塾のカリキュラムを活用して、「日本遺産講座」を実施し、ジュニアアンバサダーを認定するとともに、ジュニアアンバサダーによる日本遺産のガイドを実施し、ジュニアガイドマスターとして認定しています。

詳しくはこちら！



未来創生塾「日本遺産講座」の様子

### 市として新たに子ども観光ガイド養成講座を実施

- 桐生市の観光ガイドを養成するため、令和6年度から「子ども観光ガイド養成講座(日本遺産編)」を計5回開催し、重伝建地区を中心に興味のある場所を重点的に学び、小中高生による、子ども観光ガイドの養成講座を実施しています。



R6子ども観光ガイド養成講座の様子

“織都桐生”案内人の会や未来創生塾との連携を強化し、  
伝建地区や日本遺産等を案内する「子どもによる観光ガイド」を育成していく

- ・小学生の観光ガイドのスペシャリストを創ろうという取組。「織都桐生」案内人の会の方々に講師になってもらい桐生の色々な所を案内してもらっています。
- ・子ども達に、桐生を知ってもらい、好きになってもらい、郷土愛を育てて欲しい。
- ・観光客のリピーター＝人に会いたい  
観光スタイルが、案内をしてくれた人がその後どうなっているかを見に来たいに変化している。

## 参考 日本遺産を活用した観光施策の推進

### 日本遺産ってなに？

- 地域で継承・保存されている建造物や遺跡、景観、祭りなど「構成文化財」としてまとめ、それらを通じて、日本の魅力を伝える「ストーリー」を認定するものです。



### 日本遺産に認定

- 平成27年、「文化庁」は全国で18件の「日本遺産」を初認定し、そのうち、群馬県(桐生市、甘楽町、中之条町、片品村)の「かかあ天下ーぐんまの絹物語」が認定されました。
- 日本遺産を構成する文化財13件のうち、約半数の6件が桐生市内にあります。

- ①白瀧神社、②旧模範工場桐生燃糸合資会社事務所棟、③桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区、④後藤織物、⑤織物参考館「紫」(ゆかり)、⑥桐生織物会館旧館

### 日本遺産を活用した観光施策等の推進

- 『桐生市重伝建地区公開活用施設(本町1)』が令和6年7月に開館(保存地区にぎわい・交流創出、魅力発信などの拠点)



桐生市重伝建地区公開活用施設

- ・群馬県内の日本遺産 13 箇所
- ・桐生市にある日本遺産  
①白瀧神社 ②旧模範工場桐生燃糸合資会社事務所棟  
③桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区 ④後藤織物  
⑤織物参考館「紫」(ゆかり) ⑥桐生織物会館旧館

## 6 小中一貫教育「黒保根学園」

### 黒保根学園ってなに？

- 令和4年4月、黒保根小学校と黒保根中学校が統合し、義務教育学校「桐生市立黒保根学園」が開校。
- 同学園の目標は、「世界を見つめ、世界に羽ばたく人材の育成」です。9年間で見据えた、黒保根学園ならではの教育を行います。
- 西町インターナショナルスクール(東京都)との姉妹校提携を継続し、田園地帯という特徴を生かした、田植えや餅つきなどの行事を通してより深く交流します。

### 黒保根学園の教育の特徴

- 地域に根差し地域と連携・協働
- 少人数を生かした個々に応じた指導
- 英語教育国際理解教育の推進
- 4・3・2制の実施、小規模特認校制度



黒保根学園は、「英語教育」、「学力向上」、「地域理解教育」の3つの柱を大切に、地域とともに歩む特色ある教育を目指した学校です。

- ・小規模特認校：桐生市内に住んでいれば学区が関係なく入ることができる。
- ・4・3・2制の実施。
- ・黒保根保育園も含めて、英語に特化した教育を。
- ・県外、市外からも教育移住者が増えている。



